

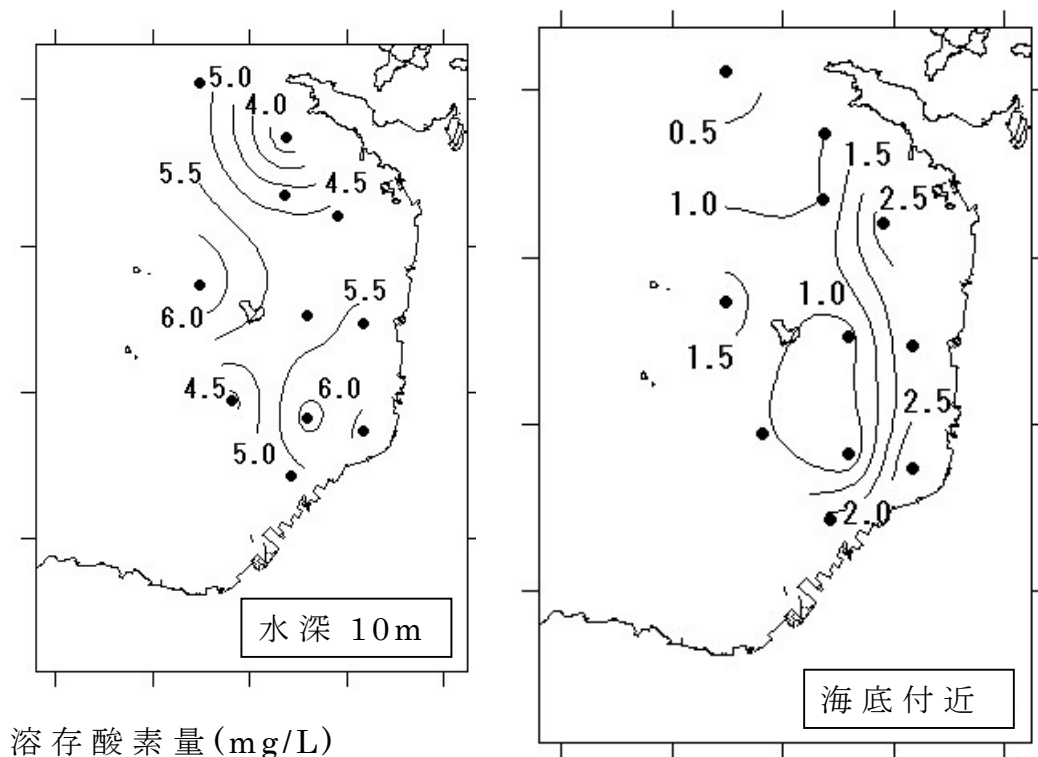
燧灘貧酸素情報（第 2 号）

香川県水産試験場

8 月 24 日観測結果

8 月 24 日現在，燧灘の底層の溶存酸素量は大きく減少しており，生物の生息環境は著しく悪化しています。8 月 2 日の前回観測以降に台風が通過したものの，貧酸素の解消には効果が認められませんでした。

中層（10m 層）でも溶存酸素量がかなり減少してきている地点もあります。依然として表層と底層の温度差が大きく，深い層に酸素が供給されないことが原因とみられ，表層・底層の水温差がかなり小さくなるまで貧酸素状態の解消は期待できないかもしれません（次回調査は 9 月上旬の予定）。



溶存酸素量（DO）の目安*

溶存酸素量	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。